

九州各県議会議員交流セミナーで「ワンヘルス講演」 !!

令和6年1月29日（月）、ホテル日航福岡において「九州各県議会議員交流セミナー」が開催されました。

九州各県議会議員交流セミナーは、九州各県議員が一堂に会し、共通する政策課題等について情報や意見交換を行うことにより、政策提案力その他議会機能の充実を図るとともに、九州の一体的な発展と地方主権の確立を目指し開催されているものです。

九州各県から約190名の参加がありました。



香原議長



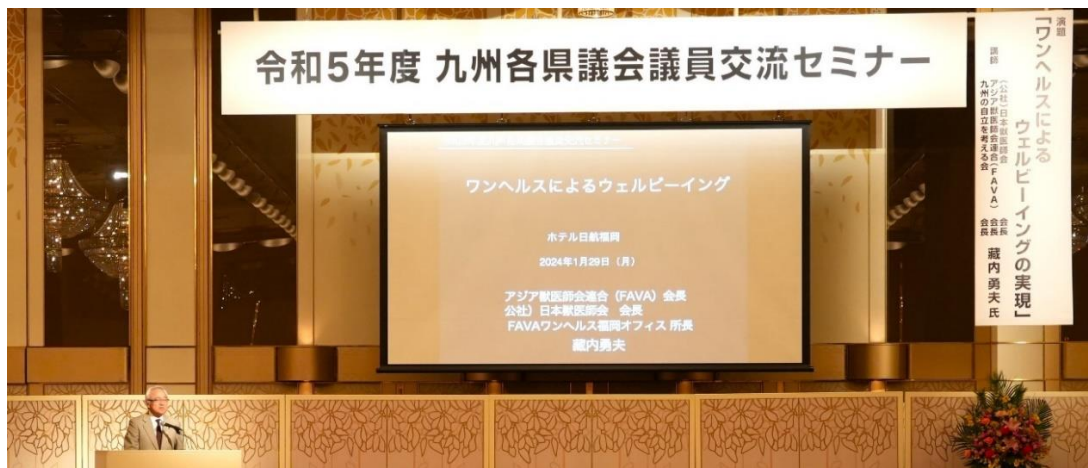
服部知事

主催者を代表して香原勝司福岡県議会議長の挨拶、来賓として服部誠太郎福岡県知事の挨拶の後、アジア獣医師会連合（FAVA）及び日本獣医師会の藏内勇夫会長が「ワンヘルスによるウェルビーイングの実現」と題して講演が行われました。



藏内会長





福岡県議会では、2020年6月、「人獣共通感染症への対応力の強化に関する決議」が議決され、同年12月、日本で初めての「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が議員提案により可決されました。

国会の代表質問においては、福岡選出の議員の先生方が「ワンヘルスの推進」に関する質疑が行われました。

岸田総理は、「政府としても、福岡県の取組を参考にしつつ、今後ともワンヘルス・アプローチに基づく感染症対策に取り組んでいく」と答弁されました。

これが、岸田総理が議長を務めた2023年5月の「G7広島サミット」へと繋がりました。ワンヘルスは、国際的にもその重要性が強調されており、広島サミットの首脳宣言においては、ワンヘルス・アプローチの適用による国際保健上の脅威への対応が表明されました。

日本政府は、広島サミットを受け、6月に閣議決定した「骨太の方針」においても「ワンヘルス・アプローチ」が明記されました。

福岡県では、一昨年から「ワンヘルス認証制度」を作りました。認証の要件は、生態系の保全や、安全・安心な食の提供、環境負荷の低減などの取組を、2つ以上実践し、認証を受けると、商品に「認証ロゴマーク」を付けることができます。

また、同じく一昨年から、ワンヘルスの趣旨に賛同して、ワンヘルスに関する取組を行うことを宣言する「ワンヘルス宣言事業者登録制度」を始めました。

私たちの地球を、安全・安心な生活環境を、次世代の子どもたちに引き継ぐために、皆さんとのネットワーク、「絆」を大切に、未来の子供たちのために、共に行動してまいりましょう。

(一部抜粋)

2024年2月5日

福岡ワンヘルス協議会・事務局